

第24回 特別企画展

「なぜ？歯は生えかわるの？」

—乳歯から永久歯へ生えかわりの不思議—

平成21年11月13日(金)より一年間、愛知県歯科医師会館3階、歯の博物館で、第24回特別企画展、「なぜ？歯は生えかわるの？」—乳歯から永久歯へ、生えかわりの不思議—を展示しております。


プロローグ

グラグラした歯や抜けた歯はありますか？小学校に入学するころになると、下顎の前歯がぐらついてきて、ついには抜けてしまいます。その抜けた乳歯はどうしましたか？日本では、上の歯は縁の下(床下)へ、下の歯は屋根の上へ投げなさいといわれます。海外ではどうでしょうか？アメリカやヨーロッパでは、抜けた歯を枕の下に置くと、夜のうちに妖精がやってきて、その歯を金貨やスレセントに換えてくれるそうです。南米では、抜けた歯をネズミが持っていくそうです。どれも迷信として伝えられていますが、後から生えてくる**永久歯がまっすぐに、正しく生えてくることを祈り、子どもの成長を祝福する**おまじないです。生えかわりの大切さは古来より世界中で語りつがれてきたのです。



ヒトは6～15歳くらいで20本ある乳歯が順番に抜けて、28本の永久歯に生えかわります。これはこの時期に顎が子どものサイズから大人のサイズになるためだと考えられています。**乳歯は6か月から12歳まで10年間程、大切に使いますが、永久歯はその後、一生使い続けなくてはけません。**そのため、乳歯、永久歯はその本数、大きさかたち、強度も大きく違います。

乳歯、永久歯と2種類あることを「**二生歯性**」といいます。**生えかわりは1回だけ**で、これは哺乳類の特徴です。歯の形も前歯(切歯)、犬歯、奥歯(小臼歯・大白歯)と、それぞれ違った形をしています。(図1)



八虫類以下の脊椎動物では「**多生歯性**」といい、**何回も歯が生えかわり、歯の形もすべて同じ円錐形**をしています。(図2)

ヒトは生後6か月ごろから乳歯が生え始め、2歳を過ぎると20本の乳歯が生えそろいます。その時**すでに乳歯の下(顎の骨の中)には永久歯が形づくられています**。満6歳ごろになると第一大臼歯(六歳臼歯)が生え、乳歯が抜け始めます。この生えかわる順序は、ほぼ決まっています、15歳ごろには28本の永久歯が生えそろいます。



今回の特別企画展では、生えかわりの大切な時期に、歯みがきの仕方など、どのようなケアが必要なのかも含め、生えかわりの実際をわかりやすく解説します。

展示内容

1. カラーパネル

乳歯から永久歯への生えかわりをパネルで紹介しています

1. プロローグ
2. 乳歯と永久歯のちがい
乳歯と永久歯の大きさ、かたち、色などの違いを説明
3. 生えかわる順番と時期
一般的な生えかわる順序、上顎と下顎の生え方の違いを説明
4. 乳歯から永久歯へ生えかわるしくみ
前歯と臼歯部にわけて、歯根の吸収、並びに生えかわり状態を説明
5. 生えかわりの時期の大切なケア
混合歯列期の口腔内状態、「みにくいアヒルの子」状態、第一大臼歯のブラッシングの重要性を説明
6. 混合歯列期のブラッシングの注意事項
年齢別にブラッシングの重点目標を説明
7. エピローグ



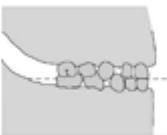
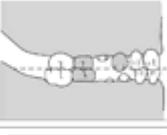
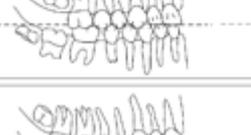
2. 実際に体験してみよう

乳歯列から永久歯列への生えかわりをステージ毎に見てみよう。

歯の博物館 第24回特別企画展「なぜ？歯は生えかわるの？」

生えかわりのステージ

きみは、どのステージ？ 乳歯、永久歯の状態から判断して口にチェックを入れよう。

<input type="checkbox"/>			3歳頃
<input type="checkbox"/>			6歳頃
<input type="checkbox"/>			7歳頃
<input type="checkbox"/>			8歳頃
<input type="checkbox"/>			9歳頃
<input type="checkbox"/>			10歳頃
<input type="checkbox"/>			11歳頃
<input type="checkbox"/>			12歳頃
<input type="checkbox"/>			15歳頃

3. 混合歯列期のブラッシングを模型上で体験しよう。



4. DVDによるプレゼンテーション

DVDでわかりやすく説明しています